

令和7年11月19日

福島大学大学院食農科学研究科2年 和田佑斗さんが 第98回日本生化学会大会で若手優秀発表賞を受賞！

このたび大学院食農科学研究科2年の和田佑斗さんが、令和7年11月5日(水)、国立京都国際会館で開催された第98回日本生化学会大会において若手優秀発表賞を受賞しました。

今回受賞した「日本生化学会大会若手優秀発表賞」は、在学中または学位取得後3年以内の若手発表者を対象とし、大会当日に行われた口頭発表の中から、特に優れた発表に対して贈られる賞です。和田さんは、近年飛躍的に発展しているAIによるタンパク質構造予測技術や、計算機科学による分子動力学シミュレーションを活用したラット由来 $\alpha 2, 3$ -シアリルトランスフェラーゼⅢの機能改変研究について発表し、見事受賞に至りました。

【受賞概要】

受賞者	和田佑斗（福島大学大学院食農科学研究科2年）
共同発表者	河野はるか（食農科学研究科博士研究員） 松田幹（理事（研究・地域連携担当）） 尾形慎（食農学類教授） 西尾俊亮（食農学類附属発酵醸造研究所特任講師）
授与機関	公益財団法人日本生化学会
受賞名	第98回日本生化学会大会 若手優秀発表賞
演題	構造予測および分子動力学シミュレーションを基にした変異導入がラット ST3Gal3 の触媒活性に与える影響

【日本生化学会について】

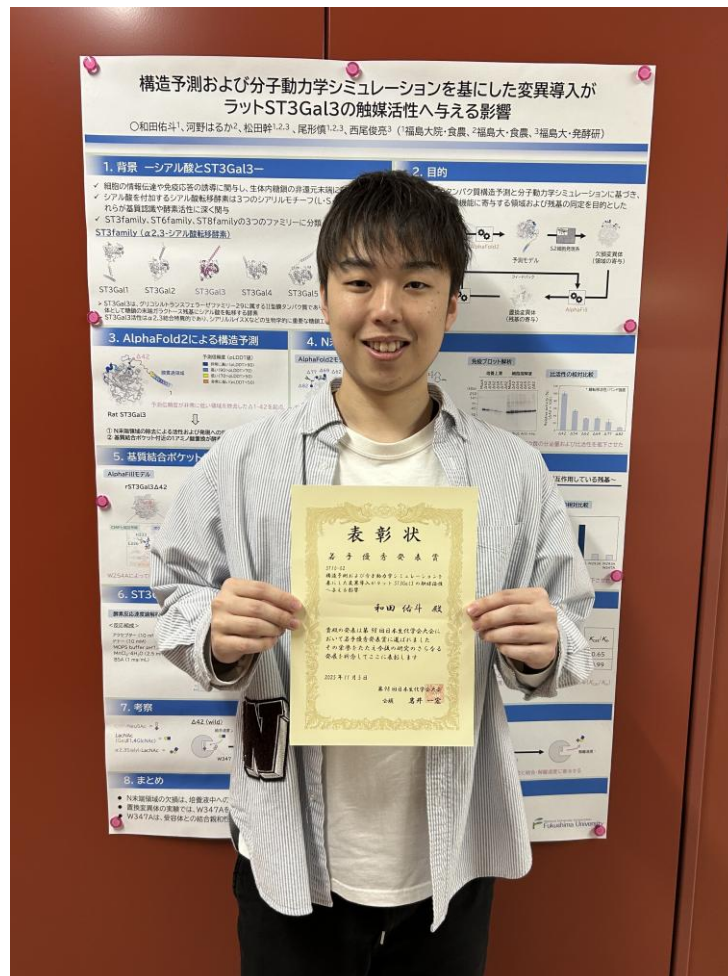
公益財団法人日本生化学会は、1925年に創設された歴史ある生命科学系学会の一つであり、生化学および分子生物学分野の学術研究を推進する団体です。創立以来、生命現象を分子レベルで理解するための基礎研究を中心に発展し、会員は大学・研究機関・企業に所属する研究者、教育者、学生を広く含みます。学会は年次大会の開催や英文誌・和文誌の発行、国際交流の促進、啓発活動、若手研究者への支援を通じて、生命科学の進展と社会への貢献を担っています。

（お問い合わせ先）

食農学類 教授 尾形 慎

電話：024-503-4982

メール：ogata@agri.fukushima-u.ac.jp



受賞者の和田佑斗さんと賞状